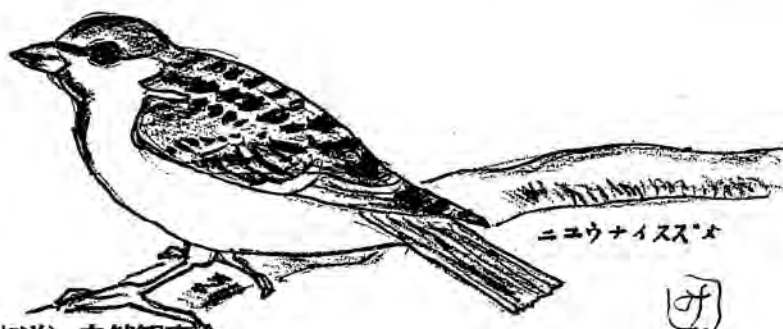


奈良・人と自然の会



第6回 東海自然歩道（初瀬街道）自然観察会

山本 昭夫

3月28日、家を出る朝方は少し肌寒かったのですが、近鉄長谷寺駅集合時には春爛漫の感、暖かい日差しのポカポカ陽気の中、出発時間迄の30分程の間に、駅前の桜の蕾が少しずつ膨らんでゆくのが感じられました。この陽気、日曜日にもかかわらず参加者は15名と少し寂しかったのですが、準備体操を入念に行い大神神社に向けスタートしました。

「長谷寺」に寄るコースは採らず近道を進むこと15分程、耳に心地よい鳥のさえずり、何とイソヒヨドリが一羽電柱でさえずっているのです。名前は聞いていましたが実物を見るのは初めて、逆光で背中部分の色がはっきり見えなかったのですが、腹から下尾筒にかけてのレンガ色が鮮やかに目立っていました。更にしばらく歩き、初瀬川に架かる小さな橋のたもとに来ると、その川面を一直線に橋の下をくぐり、高速で移動する青い物体が飛んで行くではありませんか。そう、水辺の宝石カワセミでした。

これまでも他の場所で3～4回飛んでいる姿は見ましたが、一般的に鳥の飛翔は下から、つまり腹部や下翼を見ているのですが、カワセミはいつも上から、つまり背中や上翼を見ていることが多いようです。3回程、この川面を青い塊と化して往復して飛んでいくの見た後次へ進みました。

春先の暖かい日差しで、街道沿いの木々や畑には季節の野鳥が多く、スズメ・ニュウナイスズメ・カワラヒワ・モズ・メジロ・キ、ハク、セグロのセキレイ達・ツグミ・ヒヨドリ・ムクドリ等々、ツバメも飛来していて皆で「今日は探鳥会のようなですね」と言いながら進みました。

道端で、オドリコソウ・ヒメオドリコソウやホトケノザを観察しました。オドリコソウは花が漏れている人の様に見えるので、また、ホトケノザは葉がお釈迦様の座る蓮華座の様に見えるのでそれぞれ名前がついたそうで、いずれもシソ科の植物だそうです。それより私にとっての新発見は、何といずれも四角い茎を持っている事でした。

春日神社の辺りで、上空を見上げるとタカ類とおぼしき鳥が悠然と飛翔していました。寺田さんが双眼鏡でのぞき、ノスリと確認しました。更に、昼食場所となった玉列神社ではオオタカの飛翔も見れました。タカ類は（ハヤブサ類も含み）飛翔時の腹部や下翼を見て、その翼の大きさ、斑模様、尾羽の形等でおおよその識別ができるそうです。

玉列神社ではツバキが沢山咲いており、椿祭りのノボリも立っていましたが、まだ植えたばかりというツバキも沢山あり、ツバキを今後の神社観光（参拝）の目玉にしようという意気込みが感じられました。このツバキ群の中に、花は普通のツバキと変わらないのですが金魚の形をした珍しい葉を持つキンギョツバキがありました。

初瀬川沿いにある仏教伝来之地碑の辺りまで歩いてくると、自然を壊して人間からの見た目だけをきれいにするという河川改修の名のもと、いわゆる護岸工事が行われていました。川の堤防には桜が咲いており（まだ満開ではないが）花見客が数組宴を開いていました。これらの人達を含め市民に綺麗で、心地よい環境をつくるのが行政の使命かも知れませんが、それにより川辺や水中の植物あるいは小動物が絶滅すれば、魚や野鳥の生態も大きく変わるのはいまでもありません。自然環境の保護か、人間を中心とした環境整備か、どこでも起こっている難しい問題です。それでもこの護岸工事の中、小さな草花はけなげに咲き、アオサギ・ダイサギ等水辺の野鳥もいましたが、いつまで咲きつづけた、餌をついばめるのかと思いました。

やがて、初瀬街道に別れを告げ山の辺の道に入り、海柘榴市(つばき)観音堂から金屋の石仏、更に平等寺を経て終着の大神神社に入りました。

神社に入る手前で四方竹を発見、普通竹は丸(円柱)形ですがこの四方竹は程がやや丸みを帯びた四角形の珍しい竹でした。シソ科のオドリコソウやホトケノザといい丸く納まる所が、最後は四角く納まった感じでした。

桜井駅まで電車に乗るためにJR三輪駅まで歩きましたが、途中の「みむろもなか」の店に数人が立ち寄り、買い求めている間に1時間に1~2本しか来ない桜井方面行きの電車が発車してしまいました。やむなく桜井の駅まで歩くはめとなりましたが、気候もよく昨年10月30日の曽爾高原以来(年末、右膝に水が溜まり長時間歩行が出来なかった)久しぶりに楽しく一日を過ごしました。



第7回 東海自然歩道・自然観察会に参加して

倉田 晃

4月6日(火)快晴の中、山の辺の道を大神神社から石上神宮まで歩きました。リーダーの大寺さん以下18名の参加で、花を見、木を観察し、鳥の声を聞き、神社やお寺の歴史を探り、セリを摘み、草笛を吹き…で、気持ちの良い楽しい一日でした。4月から加えていただいたシニア10期修了者も4名が参加し、親切に観察の手ほどきを受けました。

行程は近鉄桜井駅に集合の後、バスで三輪明神参道口へ行き、そこで朝礼をすました後大神神社～狹井神社～桧原神社～景行天皇陵～崇神天皇陵～トレイル青垣(昼食)～長岳寺山門～念仏寺～夜都伎神社～内山永久寺跡～石上神宮～天理駅で約15kmの道のりでした。

大神神社へ歩き始めてすぐに、あちらに止まっては草花を眺め、こちらに止まって木を眺めといった具合で、初参加の私にはこれで予定どおり日の明るうちに天理へ着くのだろうかと不安になりました。しかし、そこはすぐれたリーダーの方々の統率力で、最後には見事に辻褄の合った時間配分が行われ感心しました。

沿道には様々な花や木々が春の日差しのもとであるいはたくましく、あるいは可憐に咲き競い、私たちの目を楽しませてくれました。あんまりたくさんのお名前を聞いたものから、とても書ききれなかったのですが、私が今まで知らなかった草木のお名前には次のようなものがありました。こんなにたくさん有って、これから大丈夫なのかと少々不安になります。

ツルニチニチソウ、カキドオシ、キランソウ、タチツボスミレ、モンツキウマゴヤシ、アメリカフウロの親戚筋の花（名前は知りません）、ハナズオウ、マンサク、ヤブニンジン、ムラサキケマン、ヒメウズ、ウグイスカズラ

また、植物以外にも寺田さんから鳥居や神社の屋根葺きの解説をしていただきました。普段何気なく見ているのですが、様々な形があり、またいろいろな材料が工夫されて出来あがっていることが分かり、感心することしきりでした。

今回初めて参加した者として感想をつけ加えれば、まず、みなさんが熱心に観察に取り組み、その生き生きとした姿に感心しました。また、大変よく研究されている方々が多いのにビックリしました。今後でもできるだけ参加したいと思いました。

最後に、このような魅力的なプランを次から次へと用意されているリーダーの方々は、資料の準備や下見などさぞかし大変なことだろうと思います。リーダーの皆様のご苦勞に敬意を払い、感謝を申しあげたいと思います。



《アースデイ 2004 in なら》出展報告

樋口善雄

4月18日（日）快晴。詰襟のシャツでも暑い夏日！！狭い広場に600人余りの人出で賑わった。その中で400余名が、大和川兩岸のゴミ拾いに出た、と新聞に報じてあった。

ブースの広さが予想に反して狭かった故もあるが、「人と自然の会」出展のブースは、絶え間ない親子連れの訪問客で賑わった。我々の陣容は10名全員がフルに立ちっ放しの活躍で、交替要員充分な筈と見ていたのが嬉しい誤算である。延べの来客数で我々のブースで工作して行った人は約200人余り。蟬丸くんの準備個数130個が不足し、予備の30個が残り10個程になっていた。ヨシの笛と竹の笛、モックン等は大寺さんと私が、残る8名で蟬丸くんの応対に切り替えたのが功を奏したようだ。奈良コープからの好意による弁当にありついたのが13時過ぎ。最終的に弁当を終わったのが15時少し前のイベント終了時。大多忙と大繁盛の一日でした。ナンチャッテ先生の谷先生が「今日のご苦勞さん」と言葉をかけて通って行ったのが、印象に残っています。活躍いただいたスタッフの方々ご苦勞様でした。



神の木・榊と榊

寺田正博

清少納言は『枕草子』の中に「さかき、臨時の祭の御神楽のをりなど、いとおかし。世に木どもこそあれ、神の御前のものと生ひはじめけむも、とりわきてをかし。…」といい吉田兼好は『徒然草』に「すべて、神の社こそ、捨て難く、なまめかしきものなれや。もの古りたる森のけしきもただならぬに、榊に木綿(綿)懸けたるなど、いみじからぬかは伊勢、加茂、春日、住吉、三輪、…」と書いているように、榊は神の木である。

〈さかき〉は榊、賢木、境木、坂木、真坂樹、栄樹、等々多くの字で書かれている。榊は本来漢字ではなく、国字である。

関東から西の山林中に生育するツバキ科の常緑の小高木で、冬芽は裸で鎌または長刀の刃の形をしている。夏に花柄のある花を腋生し、花は1～3個が束になって付き、下向きに開く。神事に使われるので神社の境内によく植えてある。祭祀での榊の使い方は『日本書紀・神代』「岩戸隠れ」の話にある。天照大神は弟スサノオ命の乱暴な行いを見て、ついに天の岩戸に籠もって、その戸を閉じてしまった。すると高天ヶ原も葦原中ツ国もすっかり暗くなり、夜ばかり続いて、あらゆる災いが起こった。そこで「八百万の神、天安河辺に会ひて、其の禱るべき方を計ふ。…天香山の五百箇の真坂樹を掘じて、上枝には八坂瓊の五百箇の御統を懸け、…中枝には…、下枝には…。亦天香山の真坂樹を以て鬘にし…」。とある。このほかにも『日本書紀』『神楽歌』『源氏物語・賢木』等にも見ることが出来る。文献にはあまり見られないようですが、本州中部ではサカキが少ないので神事にこの名で使用されるのはほとんどヒサカキである。

清少納言が寺に籠もった時の話として『枕草子』に、「帶うちして拝み奉るに“ここにつかうさぶらふ”として、榊の枝を折りてもて来るに、香などのいとたふたきもおかし」と書いているように、神の木である榊に対して榊は仏の木とされている。このために仏壇や墓に供えたり、葬式の花として普通に使われている。

シキミは各地の山林中にはえるシキミ科の常緑小高木で、普通墓地などに植えられている。葉には香氣があり、4月頃小枝の上の葉腋から短い花柄を出し、柄の先に淡黄白色の両性花を咲かせる。有毒植物の一種。生枝を仏前に供え、葉から抹香を製造する。仏事にシキミを使うのは、この木の強い香で死臭を消すためともいわれる。しかし、早春に咲く花は甘い香がする。国字で榊とも書くのは、仏前に供える木から作られたという。

鑑真和上が日本にもたらしたともいわれている。

東大寺二月堂のお水取りが行なわれる閼伽井屋の周囲はシキミで囲われている。(閼伽とは梵語起源で仏前に供える水のこと)

しかし、本来サカキは常緑樹の総称で、その意味ではシキミもサカキの一つである。平安中期の神楽歌「榊葉の香をかぐわしみ求めくれば…」の、榊葉とはシキミのことだとされている。京都の愛宕神社では榊を神木としており、火除けの護符と共にシキミの枝を授け、各家庭ではこれを神棚や門に飾る風習がある。

参考引用資料 〔雅びの木〕佐藤健 〔草木スケッチ帳Ⅱ〕柿原伸人
〔牧野新日本植物図鑑〕 岩波文庫 〔枕草子〕 〔徒然草〕 〔日本書紀〕
〔岩波仏教辞典〕 他



地域情報



- ☆ 生駒市鹿ノ台街路のツツジが満開です。庭のボタンも満開です。(大寺)
- ☆ 葛城山のカタクリがしばみかけていた。イカリソウ(白)が咲いていた(4/24) <勝田>
カタクリ情報(秋田県カタクリの里西木村では早朝の新雪の中、辺り一面カタクリの花が凜とした姿で咲いていた。カタクリサミットに参加 <大寺>)
- ☆ <鎮魂の桜が植えられました>
阪神淡路大震災から10年を迎える今年、3月末に奥明日香で桜の苗木10本が植えられました。あの震災で亡くなられた人たちの数だけ全国に鎮魂の桜を植樹しようという女性の呼びかけに応じて初めて実施されたものです。「飛鳥川の原風景を取り戻す仲間の会」の会長、嶋村さん(栢森地区前総代)やスタッフ、各地から集まった参加者など約60人の協力で奥明日香女淵周辺に無事植えることができました。毎年この桜の花が咲くころに犠牲になられた多くの方々を思い、自然の大きさ、自分自身の生き方、暮らし方を考えたいと思っています。<豊島>



ネイチャーなら 奈良・人と自然の会 第3回通常総会のご案内

初夏の候 会員みなさまにはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日ごろは奈良・人と自然の会の活動にご協力ご参加いただきありがとうございます。

下記の内容で平成16年度、第3回通常総会を開催致します。お忙しいとは存じますが会員みなさまのご出席をお願い致します。

なお、午前中に奈良公園の自然観察会を行います。新緑の奈良公園を散策されたい方はぜひ観察会にもご参加ください。

また総会の出欠のお返事は同封のはがきで5月15日必着でお願い致します。

記

日時：5月23日(日) 13:00~15:00

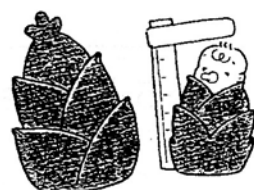
場所：奈良県文化会館 第2会議室

内容：平成15年度事業報告・会計報告・会計監査報告承認の件
会則一部変更の件
平成16年度事業計画・予算案承認の件
平成16年度役員選出の件

以上

1. 日時：5月23日(日) 9:30~12:00
2. 集合場所：近鉄奈良駅 行基像前
3. 観察場所：奈良公園内
4. 持物：自然観察用ルーペ、双眼鏡、筆記具、弁当、飲み物など
5. 担当：寺田 正博

行事案内



【檜人工林整備作業】

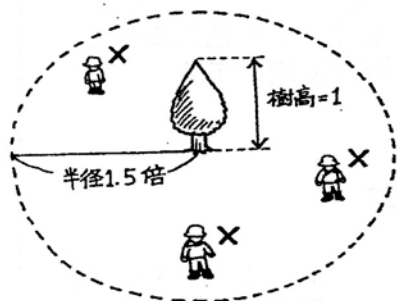
薄暗い単純檜人工林を整備して、太陽光が林床に届き針広混淆の素晴らしい森林に育てたく作業をしています。生物多様性豊かな森林を目指しています。

表土の流失を防ぎ、保水機能が向上しきれいな水をつくります。森林の機能には計りしれないものがあります。

- 〈場 所〉 奈良市忍辱山国有林（東海自然歩道沿い奈良方面へ徒歩約10分）
- 〈日 時〉 5月 9日（日） 10時30分 6月9日（水） 10時30分
5月19日（水） 10時30分 6月19日（日） 11時30分
- 〈集合場所〉 円成寺駐車場 （円成寺門の向かい側）
バス停「円成寺口」と「忍辱山円成寺」の中間位置
（9時30分にはスタッフは現地に居ります）
- 〈持ち物〉 ヘルメット（防災用）、鋸、手袋、スパッツ、弁当、飲み物他。
道具は当会にて多少は用意しております。
- 〈交 通〉 奈良交通バス 【柳生行き】
JR奈良駅③番乗り場 近鉄奈良駅④番乗り場
9:40（6/9 10:40） 9:43（6/9 10:43）
- 〈連絡先〉 弓場厚次
阿部和生
寺田正博

<間伐・安全のための注意>

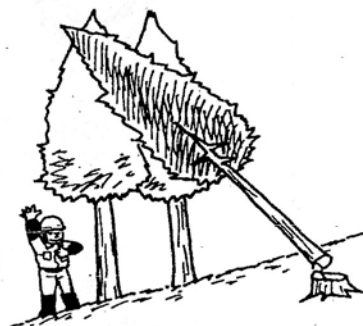
●勝手に行動せずに、プロの人の指示を守ろう。



●伐採木の樹高の1.5倍の半径内と倒れる方向に人がいないことを確認する。



●木が倒れる時は、倒す方向が狂ったり、切り口が跳ね上がることもあり、危険。



●かかり木はプロの人にまかせよう。

【林業体験の手引き】より

5月例会

五月晴れの【奈良県立月ヶ瀬・神野山自然公園】

奈良県北東端【ツツジの名所『神野山』と天然記念物『鍋倉溪』（日本唯一の奇景）】

『神野山』は 標高618m、ゆるやかなスロープを描いた円錐形の
大和高原における秀麗な山で、ツツジの名所として知られているほか
天然記念物にも指定され、延長500mにわたって大小の黒い岩石が
累々と重なり合い、火山の溶岩の流れを思わせる『鍋倉溪』、『神野寺』
等がすばらしく、5月上旬には全山ツツジで色づきみごとな景観が感動
させてくれる。

- 〈日 時〉 5月10日（月） 8時50分集合
〈集合場所〉 近鉄奈良駅 行基菩薩噴水前
〈行 程〉 近鉄バス 奈良駅前④乗り場
9時14分発 「下水間」行 （次は10：24までありません）
「神野山登山口」下車 バス約1時間
「登山口」～「神野山」～「神野寺」～「鍋倉溪」～「北野」バス停
5時頃「近鉄奈良駅」着予定
〈担 当〉 寺田正博



ネイチャー なら 奈良・人と自然の会 第8回 東海自然歩道・自然観察会

「山の辺の道」Ⅲに引き続き、石神神宮より両側がレンゲ草でピンク色に染まる
のどかな田園地帯を辿り、高樋の虚空蔵さん・弘仁寺から円照寺に向います。

- 〈コース名〉 ⑧ 山の辺の道 Ⅱ [7km]
〈日 時〉 5月16日（日） 9時30分 集合
〈集合場所〉 近鉄天理駅 ： 改札口
近鉄ナンバ〔奈良行快速〕8：34発…鶴橋8：40…西大寺9：02着・乗換〔天理行急行〕9：10発…平端9：21…天理9：27着
〈行 程〉 近鉄天理駅…石上神宮…白川溜池…弘仁寺…円照寺…JR帯解駅
〈参加費〉 資料代として4月から9月までの半期分：@200円を申し受けいたします。
〈担 当〉 大石門三 寺田正博 弓場厚次

6月例会

元山上 千光寺と湿地帯の植物観察

役行者が開いた千光寺。山門を入ると野鳥の声が聞こえる静かな境内、途中湿地を観察し、生駒山口神社へ。あまり知られていない南生駒を歩きます。

〈日 時〉：6月5日（土） 9：30～16：00

〈集合場所〉：近鉄生駒線 元山上口駅改札前 9：30
（近鉄奈良線生駒駅乗り換え 王寺行き 15分位）

〈持ち物〉：弁当・お茶・観察用具

〈コース〉：元山上口駅（9：30）→湿地（10：30）→すかんぼ池（12：00）昼食
→千光寺（14：00）→生駒山口神社（15：00）→元山上口駅（16：00）

〈担 当〉 川井 秀夫
大寺 道代



ネイチャーなら

ネイチャーなら 奈良・人と自然の会

第9回 東海自然歩道・自然観察会

大和青垣山麓の山村御殿と呼ばれる円照寺から奈良公園までの、のどかな田園をつなぐ日本最古の官道を辿ります。 気楽にご参加ください。

〈コース名〉 ⑨ 山の辺の道 I [9 km]

〈日 時〉 6月16日（水） 9時20分 集合

〈集合場所〉 近鉄奈良駅 行基菩薩像前

・ 近鉄ナンバ〔奈良行快速〕8：38…鶴橋8：44…奈良9：17着

〈行 程〉 近鉄奈良駅（バス）円照寺…白毫寺…新薬師寺…近鉄奈良駅

〈参加費〉 資料代等として4月から9月までの半期分：@200円を申し受けいたします。

〈担 当〉 小山直方 寺田正博 弓場厚次

【いこま棚田クラブ】

いこま棚田クラブ
生駒棚田通信

棚田の活動も50回となります。



- ・棚田の活動も6月には50回目を迎えます。みんなでお祭りしませんか？
- ・会員制を取らないユニークなクラブです。誰でもいつでも参加をお待ちしています。
- ・近畿大学農学部国際資源管理学科の池上甲一教授（学科長）以下10名の学生さんが我々と一緒になって棚田の再生を目指して4月より研究活動を始めています。
- ・休耕田になっている棚田（0.5反）を地元の方と田圃復元に挑戦しています。
- ・冬の間に間伐をした竹林に太陽がさんさんとふりそそいでいます。（タケノコでてこい。）
- ・いこま棚田クラブのシンボル手ぬぐいが出来ました。（カンパのつもりで買ってください。1本 500円）
- ◆ 5月活動日 #45回 5/2（日）、#46回 5/10（月）、#47回 5/16（日）、
#48回 5/24（月）、#49回 5/30（日）
- ◆ 6月活動日 #50回 6/6（日）、#51回 6/14（月）、#52回 6/20（日）
#53回 6/28（月）

（注意：5月より集合時間をセブンイレブン前 9:00とします。）

- ◆ 集合場所 近鉄生駒駅下車（鶴橋駅より快速15分）南口側ケーブル駅西隣りセブンイレブン前
- 集合時間 9時00分 現地まで車で移動（15分）
- ◆ 持ち物 弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴、草刈り鎌（有る人）

お願い：生駒駅からは車で移動します。参加者は事前にtelまたはfaxで下記までご連絡願います。

事務局 大寺道代

【黒髪山 C/F】

「黒髪山 C/F への誘い」

樋口善雄

正式名は「奈良市立黒髪山キャンプフィールド」。現在は運営協議会によって運営されています。将来は大阪の「ATC 教室」のような教育実習現場にしたいとの希望もあります。当面は当会として少しずつ参画できればと考え、運営協議会の年間計画の中から……

- ① 5月30日 「野草料理」（詳細別記）
- ② 7月25日 「自然観察と手作り工作」
- ③ 10月24日 「工作（つたを使ったリースや箸作り）」

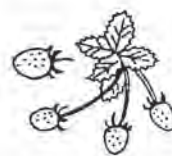
の3つの行事に参加することとしました。なお、来年にむけて＜我こそリーダー！＞の方やイベント提案も大いにOKです。

【アクセス】近鉄奈良駅前・13番バス乗場。高の原・加茂方面行き乗車。黒髪奈保町下車・徒歩で西へ約10分。

<高の原行き> 8時01・18・38 9時08・36

<加茂方面行き> 8時03・08・18・28・49 9時11・33・43・55

黒髪山 C/F「野草料理」応援願います！！



日時: 5月30日(日) 9:30~15:00ごろ。雨天決行。

場所: 奈良市黒髪山キャンプ・フィールド。(交通は別記。バス停からは車で送迎予定)

対象: 小学生中心のボーイスカウト・ガールスカウト及び引率者の団体が主です。

持ち物: 水筒・おにぎり程度。

申し込み: 準備の都合上、大寺まで連絡ください。

担当: 西谷範子

樋口善雄

大寺道代

2004年4月度定例幹事会報告

1. 日時: 4月2日(金) PM6:00~9:00

2. 場所: 奈良県文化会館

3. 司会: 勝田 書記: 寺田

4. 出席者: 川井 小山 弓場 大石 阿部 樋口 豊島 大寺 勝田 寺田

5. 議事

【報告事項】

① 会員動向 102名(うち新入会員9名)

② 3月度例会「野草料理と竹笛」参加者14名

③ 東海自然歩道・自然観察会 第6回「初瀬街道」参加者15名

④ 奈良忍辱山国有林間伐作業 参加者 第1回8名・第2回7名。伐採樹木は一任されている。

【承認事項】

① 野田幹事からの退任申し出に幹事会としては承認。

【討議事項】

① 第三回通常総会の諸準備について討議。

② 総会案内は機関紙第28号と一緒に送る。

編集後記: *寒暖の差が激しい時期です。鳥や植物において例年になく現象も見られます。

体調に気をつけてください。*今月は別記のとおり総会が開かれます。今後の運営に関して会員のみなさんの声を直接伺えるチャンスです。出欠のお返事をお願いいたします。*1,2行でも結構です、身近な記事を送ってください。

編集担当 : 勝田 均

Tel & Fax

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫